



森林資源科学科で何を学ぶか

森林資源科学科は、地球上の9割の生物資源が蓄積されている森林の生態系のしくみを知り、人間の生活に役立つ森林の働きを知り、森林を遊び・育み、森林資源を有効に活用できる能力と技術を学ぶところです。そして、再生可能な森林資源を活用し、自然環境を保全しながら数々の豊かな生活を築き立てることが本学科の目標です。このため、本学科では野外の森林現場で学び、体験するフィールドサイエンス・実習・実験を重要視しています。北海道と群馬県にある演習林に宿泊し、森林に触れながら先生や同級生と話し合うことで新しい

興味も広がってきます。また、日本各地の森林や海外の森林を見に行く機会もあります。そして、講義を聞き、本を読み、森林に関する興味を明確にさせていきます。

3年次から6つのゼミナールに分かれ、より専門的な学習と卒業研究を始めます。野生生物や昆虫、熱帯林や国際協力、緑の公園設計や樹木医、自然災害や地球温暖化の防止、水資源、深層林、里山や森林レクリエーション、森林バイオマス、木材、森林微生物など様々なテーマの研究に取り組むことになります。

フィールドサイエンスを重視した、高度な専門分野を学べる7つの研究室

造林・風致学研究室 / 森林動物学研究室 / 森林微生物学研究室 / 森林環境保全研究室 / 森林管理・住宅研究室 / 木材科学研究室 / 森林循環利用学研究室

学科主任 阿部 和時



樹木医制度

わが国の都市部における森林・樹木は、自然環境の悪化にともない1960年代からその衰退が指摘され、これに対処するために、1991年に「ふるさとの樹木保全対策事業」の一環として樹木医制度が発足しました。樹木医学は、森林や樹木の保全を図る総合的な学問として重要で、では、樹木医という専門技術者が備えるべき条件とは、どんなことでしょうか。まず森林・樹木の構造と機能を学び、同時に環境問題にみられるような学問領域横断型の知識を習得することが必要です。そして、はじめて樹木の診断・治療の実践技術への応用が可能となるのです。森林資源科学科のカリキュラムでは、卒業する際に樹木医補の資格を習得することができ、1年後には試験によって樹木医の資格の取得が可能になります。皆さんも樹木医資格の取得にトライしませんか。

取得できる資格

【取得できる免許・資格】
高等学校教諭1種免許(理科・農業) / 中学校教諭1種免許(理科 / 測量 / 土壌 / 樹木医補 / 林業実務作業主任者)
【受験資格】
二級建築士 / 木造建築士 / 農業者及び指導員 / 林業普及指導員 / 造園施工管理技師 / 毒物劇物取扱責任者 / 造園技師
【任用資格】卒業後、実務に就くことによって与えられる資格
学芸員

主な就職先

【将来の活躍分野】
国家公務員 / 農林水産省 / 地方公務員として多くの卒業生が活躍しています。また、中学や高校で理科の教諭として活躍する卒業生もいます。民間企業では、造園、住宅、木材加工・販売、土木、建設、森林関係のコンサルタント、環境アセスメント、測量関係など、また特定非営利活動法人において里山保全や環境教育、熱帯雨林の再生や砂漠緑化などに取り組んでいる卒業生もいます。
【就職先の例】
千葉県庁 / 奈良県庁 / 国土 種 内閣府 / 神奈川県教育委員会 / 東京都庁 / 東京都環境局 / 岡山県 / 東京都 / 国際紙 / パルプ / 高専 / 御滝沢種苗 / 川合肥料 / 上野野林組合 / 多野東部森林組合 / 関東白蟻防除 / ムサシ建設工業 / タチカワ / 東日本旅客鉄道 / 柳井田産業 / 株式会社 / 株式会社 / 株式会社

◆「あすなろ会」からのお知らせ

あすなろ会は森林資源科学科の卒業生でつくる校友会(同窓会)です。平成22年の卒業生は第59期になり、これまでの卒業生は約6,950名になりました。あすなろ会では会員の皆様の積極的なご参加を促し、大学と会員の連携を図る活動を行っています。さらに、本学科で行う学生の教育活動や就職活動の支援も行っていきます。また、就職支援活動として毎年11月に学科が行う就職セミナーへの協力を行います。現在、社会で活躍中の卒業生20名ほどに参加して頂き、主に3年生を対象に仕事の内容や仕事を取りまく状況、就職活動の経験談などをお話して頂きます。その他、学外実習に対する支援、1・2年生を対象として行う就職支援講座への協力、学生の学費免除に対する支援等の活動を行っております。会員の皆様の積極的なご参加とともに、森林資源科学科在校生の学業・就職活動の支援等に今後ともご協力をお願い申し上げます。また、皆様のご活躍の様子をお知らせ下さい。校友会会報記事などで掲載したいと考えております。

(事務局 阿部 和時)

日本大学 生物資源科学部
〒252-0860 神奈川県藤沢市亀井1666
Tel. 0466-84-3812
<http://www.brs.nihon-u.ac.jp/>

森林資源科学科
<http://hp.brs.nihon-u.ac.jp/~forestry/>



地球環境に配慮した大豆インキを使用しています

日本大学生物資源科学部

森林資源科学科

DEPARTMENT OF FOREST SCIENCE AND RESOURCES
COLLEGE OF BIOSOURCE SCIENCES
NIHON UNIVERSITY

造林・風致学研究室 / 森林動物学研究室 / 森林微生物学研究室 / 森林管理・住宅研究室 / 森林環境保全研究室 / 森林循環利用学研究室 / 木材科学研究室



森林資源科学科の扱う学問範囲

生物多様性
天然更新
野生動物の生息環境
生物多様性
木材腐朽菌
微生物
土壌
河川林
地理情報システム
リモートセンシング
森林と河川の相互作用
水生生物
森林生態
持続可能な森林経営
森林管理
生長量測定
市民参加
森林政策
資源としての森林
木材加工
チップ
植林・保育
林道の整備
運搬
木造建築
木材の特性
森林利用
XyloTOL
木質バイオマス
家具
砂防林
森林認証材利用
A4
FSC
リサイクル
紙製品
木材貿易
魚付林

